

# ヨード系造影剤及びガドリニウム製剤使用検査に関する問診表及び承諾書

**問診** ヨード系造影剤及びガドリニウム製剤を使用する検査を、出来るだけ安全に施行するため、以下の質問にお答え下さい。(☑しるしをつけて下さい。)

- 1、喘息：なし あり→(治療中ですか いいえ はい)
- 2、以下の病気がありますか？  
アレルギー性鼻炎 甲状腺疾患 なし  
じんま疹 花粉症
- 2、食物・薬のアレルギー：なし あり→(具体的に )
- 3、腎臓病はありますか：なし あり→(詳しく )
- 4、過去に造影剤を使用した事はありますか なし あり (具体的に )
- 5、上記でありと答えた方にその時副作用はありましたか？  
なし あり(発疹、吐き気、くしゃみ、その他 \_\_\_\_\_ )
- 6、妊娠の可能性：なし あり
- 7、糖尿病薬の服用：なし あり【服用されている方は職員にお申し出ください】  
→ピクアナイド系糖尿薬使用の方は検査日2日前の朝～当日夕方まで服用を中止してください。
- 8、腎機能検査値：クレアチニン ( ) 年 月 日 の検査値
- 9、身長( cm) 体重( kg)

## β遮断薬について

心臓CT検査時に脈拍の早い方〔一分間に大体70以上〕に、心臓の動きを少なくして正確な画像を得る為にβ遮断薬を使用することがあります。2時間程度で半量、12時間でほとんどが排泄されます。副作用として〔口渇、悪心、嘔吐、めまい、食欲不振、倦怠感〕などの軽いものから、《低血圧、心不全、徐脈、白血球の減少、気管支痙攣、呼吸困難》等の重い副作用が現れることもごくまれにあります。従って、もともと心臓の動きのよくない方や喘息をお持ちの方には使用しません。

■必要時β遮断薬(コアペータ)静注の可否 不可 可

## 造影剤の副作用について

- 1) 副作用の頻度：軽いものを含めて、2～3% (40人に1人程度) の患者さまに何らかの副作用が現れます。ショックなどの重大な副作用は、ごくまれに (2500人に1人程度) 現れます。
- 2) 副作用の危険因子：アレルギー体質の方は副作用が現れる可能性が約3倍高く、中でも気管支喘息の方は10倍高いと言われ、気管支喘息の方は原則的に造影剤は投与出来ません。また、造影剤は腎臓から排泄されるため、腎機能の悪い方はさらに悪化させることがあります。
- 3) 副作用の症状：軽度の副作用は、はきけや嘔吐、かゆみやじんま疹、くしゃみなどです。重大な副作用は、血圧低下や喘息発作、呼吸困難などが見られます。非常にまれ(100万人に1名程度) ですが、死に至った報告もあります。
- 4) 副作用が現れた場合の対応について、造影検査中は、担当者が常に観察しており、何か異常が現れた場合は造影を中止し、点滴や必要な薬品を投与し、最善の対処をいたします。帰宅後に副作用と思われる症状が現れた場合は、時間内は受診科、時間外・休日の場合は救急外来看護師が対応いたします。

## 造影剤の血管外漏出(いわゆる注射もれ)

注射針を注射して血が戻るのを確認してから造影剤を注入していますが、特に造影CT時には自動注入機を使用して血管に圧力がかかるため血管外漏出(もれ)が起こる事があります。造影CT時の血管外漏出の頻度は0.3～0.9%と報告されています。注入時に痛みが強くなってきたら速やかに検査担当医・看護師に伝えてください。血管外漏出が発生した場合には、迅速かつ適切な処置(切開等)を行います。

上記の通りご本人(ご親族等)に対し、説明しました。 年 月 日

医師 \_\_\_\_\_

看護師 \_\_\_\_\_

## 大山病院 病院長 殿

私は、上記内容の説明を受け、承諾しました。また、上記実施中に医学上の必要がある場合には、その処置の変更についても併せて承諾しました。

平成 年 月 日

患者本人署名 \_\_\_\_\_

親族または代理人署名 \_\_\_\_\_

患者との続柄 [ 配偶者・父母・子・兄弟・その他( ) ]

※本人の署名がある場合は代理人の署名は不要です。本人が判断不能な場合は代理人が署名して下さい。